

ココで、自分らしく暮らすための処方箋

■日時: 2025. 6. 8 (日) 10:45-12:15

■場所: 周南市徳山駅前賑わい交流施設交流室2

【講演会】 10:45~11:30

「ココで、自分らしく暮らすための処方箋」

守本 陽一 氏

一般社団法人ケアと暮らしの編集社 代表理事

【Doctorな座談会】 11:30~12:15

「社会的処方³—三人の医師が起こすシナジー—」

守本 陽一 氏 × 原田 昌範 氏 × 小野 薫

+ 藤本 真樹 NPO法人しゅうなんまちなか保健室 副理事長

社会的処方とは、従来の医療の枠組みでは対処が難しい問題に対し、「地域での人のつながり」を処方することです。現在、医療や福祉における様々な課題(がん、認知症、介護、障害、不登校など)をひもといていくと、必ず「孤立」という問題に行きつきます。

この度、その解決策を著した「社会的処方—孤立という病を地域のつながりで治す方法—」の著者のお一人でもある守本陽一先生をお招きし、講演会と座談会を開催することとなりました。

社会的処方の第一人者である守本先生のお話を聴くまたとない機会ですので、是非、多くの方のご参加をお願いいたします。



守本 陽一 Morimoto Youichi

1993年、神奈川県生まれ、兵庫県養父市出身。医師。修士(芸術)。自治医科大学在学時から医療者が屋台を引いて街中を練り歩くYATAI CAFEや地域診断といったケアとまちづくりに関する活動を兵庫県但馬地域で行う。医師として働く傍ら、2020年11月に、一般社団法人ケアと暮らしの編集社を設立。図書館型地域共生・社会的処方拠点として、商店街の空き店舗を改修し、シェア型図書館、本と暮らしのあるところだいかい文庫をオープンし、運営している。重層的支援体制整備事業、社会的処方モデル事業、総合事業等の自治体支援や民間企業との連携も行う。まちづくり功労者国土交通大臣表彰、グッドデザイン賞等受賞。共著に「ケアとまちづくり、ときどきアート(中外医学社)」「社会的処方(学芸出版社)」など。



原田 昌範 Harada Masanori

山口県立総合医療センターへき地医療支援センター長
山口県防府保健所長 / 山口県健康福祉部医療政策課
自治医科大学公衆衛生学 講師 / 周南公立大学 客員教授
公益社団法人地域医療振興協会 理事
周南市生まれ。2000年自治医科大学卒業し、離島へき地医療に従事。鹿野診療所に勤務時代、祖父を主治医として在宅で看取る経験。その後もへき地医療支援に取り組み、2024年へき地医療貢献者表彰受賞。



小野 薫 Ono Kaoru

おのクリニック院長
NPO法人しゅうなんまちなか保健室 理事長
下関市生まれ。山口大学卒業。周南市のまちなかに「暮らしの保健室」をつくり、生まれてから人生の最後まで、自分らしくいきいきと暮らせるまちの実現を目指している。

参加費

無料 ※駐車場代はご負担をお願いします

定員

50名

主催

NPO法人しゅうなんまちなか保健室

お問合せ

おのクリニック 〒746-0018 山口県周南市大神3丁目12-1
<https://www.ono-cli.jp> Tel.0834-61-2300

お申込み

お申込みは、下記メールアドレスまたはQRコードからお願いします。
メールでの申込みは、お名前 電話番号 職種/資格 メールアドレス 所属 会員か否かを記載して送信下さい。×切: 令和7年6月2日(月)

入会案内

メール: connectone0929@gmail.com



講演会等申込



入会申込

NPO法人しゅうなんまちなか保健室は、令和4年6月28日に設立しました。これまで、月1回のミーティングやキックオフ講演会、イベントでの相談など、様々な活動を行ってきました。また、今後活動の拠点づくりを行って行く予定です。もし、私たちの活動に賛同し、「一緒に活動したい」「何か協力をしたい」と思われる方は是非、当法人の会員になっていただければと思います。会員種別は右記の通りとなっております。

【個人会員(正会員)】年会費:3,000円
【個人賛助会員】年会費:1,000円
【団体賛助会員】年会費:30,000円
※詳細は、上記のQRコードを読み込んでご確認ください。